

●キューバ友好円卓会議 通信

e-mail : cuba.entaku.0803@gmail.com  
FAX 03 - 3415 - 9292 http://cubaentaku.web.fc2.com/  
〒157-0073 東京都世田谷区砧 8-15-14-101

キューバ友好フォーラム2011 開催

日時 8月3日(水) 18:30~20:30  
(18:00 開場)

会場 日本青年館3階国際ホール  
TEL03-3401-0101  
〒160-0013 新宿区霞ヶ丘町 7-1  
JR中央・総武線各駅停車「千駄ヶ谷」駅より徒歩9分/地下鉄銀座線「外苑前」駅3番出口&都営地下鉄大江戸線「国立競技場」駅A2出口より徒歩7分

参加費 1000 円 (円卓会議会員 500 円)  
※参加者多数の場合は予約を優先します

2011年3月11日、ハバナ市

キューバ友好団体 代表者各位  
親愛なる友人の皆様  
私たちは深い悲しみをもって、この度貴国に甚大な被害を及ぼした大地震のニュースを知りました。この地震は日本史上最悪のものとして、被害はまだまだ計り知れませんが、大勢の人命が失われたことやインフラへの二次被害、南米やアジア各国の海岸への津波に対する警戒などが伝えられています。本質的にみてこの甚大な被害が私たちに改めて思い出させるのは、フィデル・カストロ最高司令官が人類の幸福のため、そして気候変動が引き起こしている悲惨な結果に立ち向かうための政治的意志をひとつにしようしながら取り組んでいる終わりなき闘いです。  
キューバ諸国民友好協会(ICAP)はこの手紙を通じて日本の友人の皆様はこの惨事の発生に際し、心からお悔やみの気持ちをお送りします。この気持ちが特に、もっとも深刻な被災地域である宮城県、岩手県、茨城県、栃木県、千葉県、東京都、ならびに日本全国に届くことを願っております。同時に、私たちが感情のこもった深い友好関係をもっている勤勉で連帯的な日本国民の誠実な代表である皆様、キューバ国民とICAP関係者はこの悲劇の前に連帯し、全面的に協力する用意があることをお伝えします。  
友愛の気持ちをこめて

キューバ諸国民友好協会 総裁 ケニア・セラノ・ブイグ

アレイダ・ゲバラさんに聞く

聞き手★富山栄子さん (通訳・翻訳家)

キューバはエネルギー危機をどう乗り越えたのか

3月11日に起こった「東日本大震災」とそれに伴う「福島第一原子力発電所の事故」は、世界に津波のような衝撃を与えました。

革命キューバは、1991年、それまで石油の大半を依存していたソ連が崩壊したことにより未曾有の危機に直面。極めて深刻なエネルギー不足に陥り、GDPは34%も下落しました。国民の生活も困窮を極め、キューバ国民が「special period」(非常時)と呼ぶ苦難の時代を迎えたのです。その時、キューバは、建設中であった原発を中止し、自然エネルギーへの転換と有機農業への模索を開始し、やがて、この苦難の時代を克服します。

あの時、キューバはエネルギー危機をどう乗り越えたのか？  
国民はこの危機にどう立ち向かったのか？ この夏、3度目の来日をされるチェ・ゲバラの長女、アレイダ・ゲバラさんに当時のお話を聞き、エネルギー危機に直面している私たちが進むべき道と一緒に考えたいと思います。



アレイダ・ゲバラさん  
ALEIDA GUEVARA  
小児科医・アレルギー専門医



富山栄子さん

写真&トーク

フォトグラファー 和田 剛の  
「おれとキューバ」

東北の人たち、そして日本へ  
エールを込めて



僕は焦っていた……。未来に思いを巡らすと、不安や焦燥ばかり。後がない。2010年、そんな覚悟で出かけたキューバ。自分自身と格闘し、圧倒的に平和な光景に葛藤した。僕がこれから進む道はどこにあるのか。



●会場MAP●

問合せ・申し込み キューバ友好円卓会議  
〒157-0073 東京都世田谷区砧 8-15-14-101  
e-mail : cuba.entaku.0803@gmail.com  
FAX 03-3415-9292